



JPFA

Japan Powerchair Football Association
一般社団法人日本電動車椅子サッカー協会

日電協第21011号
2021年10月01日
[公印省略]

関係各位

一般社団法人日本電動車椅子サッカー協会
会長 吉野 忠則
審判委員会 委員長 奥本 賢

競技規則の改正ならびにテクニカルサプリメントに関する質問に対する回答①（通知）

「パワーチェアフットボール 競技規則（公式ルール・規則）」の改正（以下、「競技規則2020」）ならびに「電動車椅子サッカー テクニカルサプリメント（公式技術仕様規則）」（以下、「テクニカルサプリメント」）に対する質問について、回答いたします。

記

1 質問と回答

（別紙）参照。

※質問・要望は日本電動車椅子サッカー協会（以下、「JPFA」）にて要約しています。

2 問い合わせ先

「競技規則2020」ならびに「テクニカルサプリメント」に関する問い合わせは以下までお願い致します。

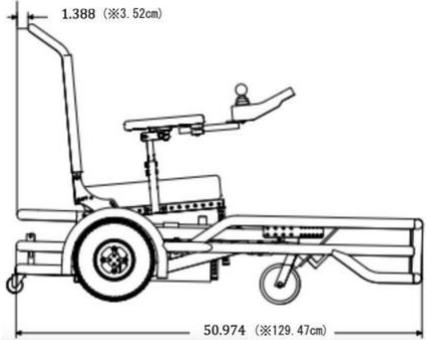
・メール：contact@jewfa.jp

以上

(別紙)

| 項番 | 質問・要望 | 回答 | 参照条文 |
|----|---|---|--|
| 1 | サッカーやフットサルでは、競技規則の改正があった場合、変更点について通達されるが、今回の改正に当たって、変更点の通達はあるか。 | 変更点の概要について、「競技規則の改正ならびにテクニカルサプリメントの公開について（通知）」（ リンク ）でお知らせしています。 | |
| 2 | 「競技規則 2020」により、ボールが複数の競技者に挟まって運ばれていた場合は、得点とならないことが明確化されたが、守備側競技者が意図的に「ボールを他の競技者との間に挟んで、ゴールポストの間でボールの全体がゴールラインを越える」状況を作り出した場合（以下、「本状況」）、守備側競技者は、相手チームの得点または決定的な得点の機会を阻止したとして罰せられるのか。 | 決定的な得点の機会または得点の阻止として罰せられるのは、第 12 条 - ファウルと不正行為 「退場となる反則」 4. ～6. に規定されている場合となります。ボールが複数の競技者の間に挟まって、ゴールポストの間でボールの全体がゴールラインを越えた場合の再開方法はセットボールになりますので、意図的に「本状況」を作り出しただけでは、5には該当しません。 よって、「本状況」を作り出す過程で、意図的に手でボールを扱う、フリーキックまたはペナルティーキックとなる反則を犯す、またはゴールキーパー以外の競技者がゴールラインを完全に横切る のいずれかを犯していない限り、守備側競技者は罰せられません。 ※【競技規則 2020】第 12 条 - ファウルと不正行為 「退場となる反則」 4. 意図的に手でボールを扱い、相手チームの得点または決定的な得点の機会を阻止する 5. フリーキックまたはペナルティーキックとなる反則で、ゴールに向かっている相手競技者の決定的な得点の機会を阻止する 6. ゴールラインを完全に横切ることによって、相手チームの得点を阻止する（ゴールキーパーを除く） (和訳版 22 ページ) | 【競技規則 2020】 第 10 条 - 得点の方法 「得点」 複数の競技者の間に挟まって運ばれてはならず、ボールは転がっていなければならない。 (和訳版 22 ページ) |
| 3 | 「競技規則 2020」により、ボールが複数の競技者に挟まって運ばれていた場合は、得点とならないことが明確化されたが、ボールを他の競技者との間に挟んで、ゴールポストの間でボールの全体がゴールラインを越えた場合は、試合は停止されるのか。また、停止される場合の試合の再開方法は何か。 | 試合は停止されます。再開方法は、第 8 条 - プレーの開始および再開 「セットボール」の「ボールがインプレー中に競技規則のどこにも規定されていない理由によって一時的にプレーを停止する必要があるが生じた」(和訳版 28 ページ) に該当し、セットボールとなります。 | 【競技規則 2020】 第 10 条 - 得点の方法 「得点」 複数の競技者の間に挟まって運ばれてはならず、ボールは転がっていなければならない。 (和訳版 22 ページ) |
| 4 | リアガードについて、「上方へボールを打つために角度をつけてはならない」、「いかなる尖った表面や突起を持ってはならない」という規定を踏まえ、以下の画像の場合は、問題があるか。 | 「突起」に該当します。テクニカルサプリメント和訳版 10 ページの写真でもフットガードの角は丸められています。フットガード・リアガードの角が丸められていない機種がありますが、特に国際大会では問題となる可能性がありますので、注意してください。 | 【テクニカルサプリメント】 競技者の用具 - リアガード（後部防護具） リアガードは、いかなる尖った表面や突起を持ってはならない。 (和訳版 11 ページ) |

| | | | |
|---|---|---|---|
| |  <p>内角:90度、長さ:12cm、全長:134.5cm</p> | | |
| 5 | <p>JJFA からは、「電動車椅子の全長 140cm は足が飛び出してしまう場合の猶予を与える数字だと解釈してください。基本的なベースは 129.4cm 以内となります。」という旨のメールが発信されたが(2021年2月12日 JJFA 技術委員会委員長より発信)、和訳(JJFA 技術委員会にて翻訳ソフトを用いて発信した和訳) (リンク)では、呼吸器搭載の電動車椅子であれば、全長 140cm 以内で問題ないように解釈できる(※)。</p> <p>呼吸器搭載電動車椅子の最大全長はどの値を採用すればよいか。</p> <p>(※)「指標は以下の通りとなります。」(中略)「②全長 140cm (55.120インチ) リクライニングや呼吸を設置した際の全長。③との関係で、リクライニングを倒す必要がある場合は、フロントガードを短くする必要があります。」</p> | <p>左記は誤った案内であったため、本通知で訂正致します。呼吸器搭載電動車椅子であっても全長の上限は 129.47cm となります。該当の部分(質問・要望欄で「※」印を付している部分)は原文には存在しませんでした。最新の和訳を JJFA 公式ホームページで公開しておりますので、ご確認ください (リンク)。</p> | <p>【テクニカルサプリメント】 競技者の用具 - 張り出し部分 (和訳版 12 ページ)</p> |
| 6 | <p>呼吸器搭載の電動車椅子の最大全長は 140.00cm なのか。また、リアガードも装着時の最大全長が 140.00cm 以内であれば、問題ないのか。</p> | <p>呼吸器搭載電動車椅子であっても、電動車椅子の最大全長は 129.47cm (リアガードを含めた長さ) となります。</p> | <p>【テクニカルサプリメント】 競技者の用具 - 張り出し部分 (和訳版 12 ページ)</p> |
| 7 | <p>国際大会を目指さないチーム(殆どの 6km カテゴリーのチーム)は従来通りの基準(サイズ)を適用してほしい。</p> | <p>(日電協第 18001 号)「フットガード・リアガードに関して(JJFA 大会規定として)」(2018/04/15 付)で通知している通り、国内の大会規定としては、「フットガードの先端からリアガードの後端までの長さは最大長 145cm 以内」とします。</p> | <p>【テクニカルサプリメント】 競技者の用具 - 張り出し部分 (和訳版 12 ページ)</p> |

| | | | |
|----|---|--|--|
| 8 | 背もたれとリアガード後端の距離 (3.52cm 以上) の規定は実際にあるのか。 | 規定されています。「電動車椅子サッカー テクニカルサブリメント (公式技術仕様規則) (日本語版)」12 頁の図をご参照ください。  | 【テクニカルサブリメント】 競技者の用具 - 張り出し部分 (和訳版 12 ページ) |
| 9 | 背もたれとリアガード後端の距離 (3.52cm 以上) の規定はプレー中のみ適用か。試合前やハーフタイム、試合終了後のエキップメントチェックを終えた以降等において、リクライニングを利用して身体を休めることは可能か。 | プレー中のみ適用となります。ただし、ハーフタイムにリクライニングを使用した場合は、後半が開始される前に、必ず背もたれとリアガード後端の距離 (3.52cm 以上) を戻してから出場してください。 | 【テクニカルサブリメント】 競技者の用具 - 張り出し部分 (和訳版 12 ページ) |
| 10 | 障害による身体的特徴により、プレー中にリクライニングや呼吸器が必要となる場合に、電動車椅子の全長を 129.4cm 以内に収める努力をしても、足がフットガード先端から飛び出してしまう場合、または近すぎる場合もフットガードの延長 (10cm) が認められるという解釈でよいか。 | 左記の解釈の通りです。サブリメント和訳版 13 ページに、「競技者の足がフットガードに近すぎるかまたはガードを越えてしまうときは、つま先 (足) からさらに 10cm (4 in) まで広げることができる」と規定されています。ただし、リクライニングや呼吸器を使用した場合でも、電動車椅子の全長の上限は 129.4cm になります。あくまで、本規定で延長が認められるのは、後進時の前輪の正面からフットガードまでの長さとなります。 | 【テクニカルサブリメント】 競技者の用具 - フットガード 競技者の足がフットガードに近すぎるかまたはガードを越えてしまうときは、つま先 (足) からさらに 10cm (4in) まで広げることができる。 (和訳版 13 ページ) |
| 11 | 「競技者の足がフットガードに近すぎる」とは、具体的にどの程度の距離を指すのか。 | 具体的な基準はありません。ただし、本規定は電動車椅子の全長を伸ばすことを目的としているわけではなく、あくまで足がフットガードの前端よりも前に飛び出してしまう等の危険を未然に防止するための規定であるという趣旨をご理解いただき、その精神に則って解釈をお願い致します。なお、インバケアやクイッキ一等の機種では、足がフットガードの前端よりも前に飛び出してしまう構造の電動車椅子がありますが、ストライクフォースでは足がフットガードの前端よりも前に飛び出してしまう構造の電動車椅子はほとんど存在しないと考えられます。 | 【テクニカルサブリメント】 競技者の用具 - フットガード 競技者の足がフットガードに近すぎるかまたはガードを越えてしまうときは、つま先 (足) からさらに 10cm (4in) まで広げることができる。 (和訳版 13 ページ) |
| 12 | 「競技者の足がフットガードに近すぎる」と判断された場合、一律で 10cm の延長が認められるのか。または、基準 (つま先からの距離等) があるのか。 | 具体的な基準はありません。ただし、本規定は電動車椅子の全長を伸ばすことを目的としているわけではなく、あくまで足がフットガードの前端よりも前に飛び出してしまう等の危険を未然に防止するための規定であるという趣旨・精神に則り、一律で延長が認められるわけではなく、上記の危険が生じないと認められる距離までの延長が認められます。 | 【テクニカルサブリメント】 競技者の用具 - フットガード 競技者の足がフットガードに近すぎるかまたはガードを越えてしまうときは、つま先 (足) からさらに 10cm (4in) まで広げることができる。 (和訳版 13 ページ) |
| 13 | テクニカルサブリメントのスピードテスト規定のうち、「速度違反」の項に、制限速度を超過した可能性のある競技者について、「審判員は、競技者の試合続行を認め、試合を終了させる」とあるのは意味が通じないのではないか。 | 次の通り、適用してください。①試合中は、制限速度を超えた疑いのある電動車椅子があった場合 または 相手チームの監督から疑義があった場合でも、試合を停止・中断・中止はせず、競技者の試合続行を認めます (試合時間の完了まで試合を続行させ、試合を終了させます)。②その上で、速度違反の疑いのある競技者 | 【テクニカルサブリメント】 スピードテスト - 速度違反 試合中、審判員が制限速度を超えた疑いのある電動車椅子を見つけた場合、あるいは試合終了前に対戦側の |

| | | | |
|--|--|---|--|
| | | に対しては、「試合後の電動車椅子のスピードテスト」の項の手続きに従って対処します。 | 競技者の速度違反に対し監督が疑義を申し出た場合でも、審判員は、競技者の試合続行を認め、試合を終了させる。 (和訳 14～15 ページ) |
|--|--|---|--|